

愛媛県

黄鳥倶楽部

結成 昭和42年6月16日

全国連合退職校長会60周年、おめでとうございます。

本県の黄鳥倶楽部は、県高等学校長協会会員であったもので組織する教育研究団体で、会員の研修と親睦を図ることを目的として、昭和42年に発足し、現在300名の会員を擁している。黄鳥倶楽部は「おうちょうくらぶ」と読み、「退職してもまだまだくちばしが黄色い雛のようなものである」との自戒の意味を込め、名付けられたと言われている。

1 総会

毎年2回開催する総会〔春の会（5月）及び秋の会（10月）〕は、コロナ禍で3年間中止していたが、昨年度、4年ぶりに「春の会」と「秋の会」を通常開催した。

「春の会」は、例年5月の第4日曜日に開催されている。今年度は、5月26日に開催した。総会では、県教育委員会等から来賓を迎え、代表世話人の挨拶、来賓祝辞及び紹介後、今年度から定年延長に対応するため、前年度末に校長職を役職定年した先生方を新会員として迎え、新入会員紹介を行った。続いて、長寿のお祝いの贈呈、会務報告、会計決算・報告、世話人の改選協議が行われた。また、この会で郵便料金の値上がりなどを考慮し、経費節減のため、これまで10月の第4日曜日に開催されてきた「秋の会」を中止することを決定した。総会終了に引き続き、懇親会を開催し、和やかな雰囲気の中、交流を深めている。

2 えひめ教育の日

「えひめ教育の日」は、愛媛の子どもたちの健やかな成長を願って、県民総ぐるみで愛媛の教育について考え、行動する契機となる日として平成20年に制定された。黄鳥倶楽部は「えひめ教育の日」推進会議の正会員団体の一つとして参画している。

令和6年度の「えひめ教育の日」推進大会・推進フェスティバルは、7月26日（日）に松山市で日本連合教育会えひめ大会と同時開催された。「えひめ教育の日」推進宣言を行い、今後の取組の更なる活性化を誓うとともに、記念講演と地元の小・中・高校生による実践発表等が行われた。また、高校生による「展示発表と物産販売」も行われ、どの学校も日頃の学習成果が表れたすばらしい実践であった。

3 白秋会

本会の特色の一つに、会員有志による趣味の集い「白秋会」がある。趣味を楽しみ、互いに人生の実りを味わっていきたくと、毎年晩秋の頃、白秋会展を開催している。作品は、絵画・版画・書・写真・陶芸等、様々な分野に意欲的に取り組んでいる。



4 黄鳥ゴルフコンペ

会員有志による集いで、例年春と秋に松山国際ゴルフクラブにおいて開催している。令和6年度は、第37回大会を4月26日（金）に、第38回大会を10月18日（金）に開催した。

5 名簿等の発行

3年に1回、会員名簿を発行している。また、総会時に会員の近況報告をまとめたメッセージ集を配付し、帰属意識を高めるとともに、連帯感を深めている。

6 その他の活動

子ども舞台芸術体験サポートシステム後援会、えひめ教育の日推進会議、子どもの愛顔応援ファン等、えひめの教育振興のため、各種の教育団体に対して助成し教育の振興に寄与している。